



僕のが世界一

報告者: 福丸直宏
2024年11月14日

園外保育の木曜日、年長の子ども達は園外には出かけず何やら朝からワクワクが止まらない様子でした。朝の登園バスの中でも「今日さ、作るんだよ!!」とニコニコ。「何作るの?」と聞くと「スイートポテト!!」と楽しみにしている様子でした。いざ、園に到着するとエプロンとバンダナを身につけて手を洗います。どんどん楽しみな気持ちが高まっていきます。今回使うお芋は先日、自分たちで収穫したお芋で、先週はやきいも今週はクッキングとお芋を使った経験が盛りだくさん。

子ども達にとって「食」が身近な存在として実感してもらえるようにと、今年度はこれまで以上に先生達と話し合いを重ねながら「食」に触れる実体験を意識して過ごしてきました。



みんなで収穫したお芋で

早速、お芋選びから！「どのお芋が美味しくなるかな？」と綺麗な大きなお芋を自分たちが収穫した物の中から子ども達を選びました。

蒸して潰して砂糖とバターを混ぜて...とレシピを確認しながら調理室へ！

蒸すのは調理室で

自分たちで選んだお芋を調理室へ持って行くと、せいこ先生・みつどめ先生・だいさか先生が「待ってたよー」とお待ちかね。今日のスイートポテトづくりは強力な助っ人がいました。

まずは、調理室で潰しやすい硬さになるようにとお願い、子ども達は調理の準備を行いました！



調理の先生をお願いします！

僕もやりたいけど、みんなでやった方がいい

蒸されたお芋を潰すとき「誰がやる？」
「誰からやる？」と子ども達が話します。
「僕もやりたいんだけどさ、みんなでやった方がいいと思う！」と子どもから声が上がります。大人が介入する必要がないくらい、子ども同士で話し合い、折り合いをつけて楽しもうとする姿に成長を感じました。



インターンシップのお兄ちゃんお姉ちゃんに協力してもらって...



担任の思いとこれからのこと



「僕のが世界一きれい！」

こだわったからこそ自信！

こだわって作っていたみなとくん
「僕のが世界一きれい！」と食べる前も食べながらも自信満々。見てみるとほんとに綺麗なまんまる。お月様みたいなスイートポテトにもこだわりを感じます。

収穫から調理を子ども達と一緒に経験した年長担任の先生方と話をしていくとサツマイモを通して「食」に触れるだけでなく、調理過程での段取りや順番決め、誰かに協力をお願いしたり、友達と力を合わせることなど、さまざまな経験や育ちに気づいたという担任の思いを語ってくれました。「お芋でクッキング楽しかった！」にとどまらず、そこにはどんな学びや経験が隠れているのか。保育者として専門的な立場から子どもの育ちを考える機会となりました。

